


















カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																												
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17												
																																	
26	公正な事業慣行	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物問題を調達活動の主要課題と位置付け、人権侵害、環境破壊などを引き起こし、武装勢力などの資金源となっている紛争鉱物は使用しないことを中期目標に掲げ、取り組んでいる。 https://www.epson.jp/SR/supply_chain_csr/conflict_mine_rals/				4.1	5.2									8.7											16.4				
27	公正な事業慣行	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	サプライヤー管理プログラムを制定し、調達ガイドラインの遵守要請、サプライヤーによる自己評価、リスク分析、現場確認、改善活動のサイクルにより行っている。いずれのサプライヤー評価においても、サプライヤーと協働で改善活動を行い、レベルアップを図っている。 https://www.epson.jp/SR/supply_chain_csr/approach/ RBA行動規範に基づき、ハイリスクサプライヤーに対して現場確認、改善支援を実施している。 https://www.epson.jp/SR/supply_chain_csr/approach/#h2_03				3.9	4.1	5.1	6.1								8.4									12.2	13.1	14.1	15.1	16.1	17.16
								4.3	5.2	6.2	7.1	8.5						9.4	10.2	11.6	12.4	13.3	14.2	15.2	16.2								
								4.4	5.5	6.3	7.2	8.6						10.3	11.6	12.5	13.3	14.3	15.3	16.4									
								4.5		6.4	7.3	8.7						10.7	12.6				15.4	16.5									
								4.7		6.5		8.8											15.7	16.10									
										6.6																							
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	世界中のどの国・地域でも同じ品質を提供できるよう、グループ統一の品質保証規程と製品安全性管理規程を定め、世界同一レベルでの製品品質を実現している。特に商品の安全性や環境法規制の適合性については、グループ統一品質規格であるEQS (Epson Quality Standard) を設け、世界各国・地域の安全規格や法規制の要求レベル以上の自主規制を幅広く実施している。また製品事故の未然防止、再発防止に向けて、あらゆる分野において徹底した安全性の評価を行い、お客様への安全・安心の提供に努めている。 https://www.epson.jp/SR/customer_value/safety.htm 「製品に関する重要なお知らせ」をエプソンのホームページのトップに掲載し、製品安全に関する情報を提供している。 https://www.epson.jp/																		12.4											
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	品質方針を定め、それを全社員が共有し実践することで、お客様に満足していただける商品/サービスの提供を追求している。 https://www.epson.jp/SR/customer_value/ お客様の想いや困りごとに耳を傾け、お客様の期待に応える商品企画を行っている。 https://www.epson.jp/SR/customer_value/satisfaction.htm																		12.8								16.6	16.8		
30	製品・サービス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	生産工程や商品の省エネルギー、資源効率向上、有害物質排除など、環境負荷低減の取り組みにより創出した環境配慮型商品を提供している。 https://www.epson.jp/SR/environment/products/ https://www.epson.jp/SR/environment/products/products.htm				3.9			6.3								9.4	11.6	12.2	13.2						15.1					
											7.3										12.4							15.2					
											6.6										12.5							15.4					
																												15.5					
31	社会貢献・地域貢献	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	価値創造ストーリーに基づき、社会課題を起点に、自社が貢献できるマテリアリティを特定し、独自のコア技術をベースにイノベーションを起こし、社会課題を解決する価値を創造し、提供することでSDGsの達成に貢献している。この価値創造を継続して行うことにより、持続可能でこころ豊かな社会を実現する。 https://www.epson.jp/company/value_creation/ 長期ビジョンを、「『省・小・精の技術』とデジタル技術で人・モノ・情報がつながる、持続可能でこころ豊かな社会を共創する」と改定し、環境、DX、共創への取り組みに重点を置き、5つのイノベーション領域において、エプソンでしか成し得ない新しい価値を創り出している。 https://www.epson.jp/company/corporate_vision/ https://www.epson.jp/technology/research_development/ https://www.epson.jp/technology/core_technology/introduction.htm	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17												
32	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	事業所が立地する地域の皆様を招いて毎年意見交換会を実施している。地域の皆様に当社の環境活動やリスク管理体制について理解を深めていただくことで、友好的信頼関係の構築に努めている。 https://www.epson.jp/SR/initiative/communication.htm#h2_03					4.4												11.4								15.2				

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
33	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	世界各地でそれぞれの地域社会に根ざした社会貢献活動を通して、社会との共生を進めている。 企業に対してより高い社会性が求められていることを社員一人ひとりが自覚し、良き企業市民として積極的に社会に貢献し、ともに発展できる関係を築いている。 https://www.epson.jp/SR/citizenship/community.htm https://www.epson.jp/SR/citizenship/education.htm				4.4									11.4					15.2	
34	社会貢献・地域貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	職域生協が社員食堂で提供する食材やパン、菓子などは地域のもを調達している。 また、2021年4月からは、長野県の全ての拠点で信州産のCO2フリー価値付き電力(信州Greenでんき)を使用している。 https://www.epson.jp/osirase/2021/210326.htm								7.2	(8)	(9)		(11)	(12)	13.2					
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	経営理念を職場に掲示し、各職場で朝会時に唱和し、指差し確認している。 年2回の方針大会で経営目標を社長から社員に説明している。 https://www.epson.jp/SR/initiative/ https://www.epson.jp/company/corporate_vision/										(8)	(9)								(17)
36	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	企業行動原則及び社員行動規範に法規制などのルールを守ることを定め、グループ内に周知徹底を図っている。 https://www.epson.jp/company/kodo_gensoku.htm#anchor05 毎年10月を「コンプライアンス月間」と定め、全世界でコンプライアンス意識の向上及びコンプライアンスリスクの低減を徹底する期間としている。 https://www.epson.jp/SR/organizational_governance/initiatives.htm#h2_02 「統合レポート」P53-P54 https://www.epson.jp/IR/library/pdf/integrated_report/epson_ir2020_03_j.pdf?20																		16.5 16.b	
37	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	サステナビリティ担当役員を任命し、CSR活動を進める体制や会議体を設置している。 https://www.epson.jp/SR/initiative/#h2_03																		(16)	
38	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーと対話し、外部有識者から見た当社の活動について振り返りを行い、企業価値向上に取り組んでいる。 https://www.epson.jp/SR/initiative/sdgs.htm#h2_02 https://www.epson.jp/SR/engagement/														12.6				(16)	(17)
39	組織体制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	リスクマネジメント体制を整備し、リスク管理の年間サイクルに従って定期的に報告している。 https://www.epson.jp/SR/organizational_governance/system.htm#h2_02 「統合レポート」P55-P56 https://www.epson.jp/IR/library/pdf/integrated_report/epson_ir2020_03_j.pdf?20																11.b			(16)
40	組織体制	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	企業を取り巻く社会課題を抽出し、自社視点・社会視点で評価し「CSR重要テーマ」として特定した。テーマごとに年度の活動計画を立てて推進している。 https://www.epson.jp/SR/initiative/action_item.htm																		(16)	
41	組織体制	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	長年にわたる防災への取り組みや、事業継続計画(BCP)策定等、事業継続マネジメント(BCM)の推進に取り組んでいる。定期的な訓練を実施している。 https://www.epson.jp/SR/organizational_governance/initiatives.htm#h2_04 サプライチェーンBCMガイドラインを制定し、サプライヤーと共に有事対応力の強化を図っている。 https://www.epson.jp/SR/supply_chain_csr/approach/#h2_03											(9)		(11)		(13) (13.1)			(16)	
42	組織体制	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	後継者計画を策定・充実させている。 https://www.epson.jp/SR/organizational_governance/#h2_03										(8)	(9)							(17)	

()内のターゲットは長野県により選定されたもの
(当社で紐づけ未実施のため参考として記載)

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
情報セキュリティ対策を行っている	情報セキュリティ基本方針を定め、グローバルでのセキュリティ事故への対応体制の確立、サイバーセキュリティ対策の実施、お取引先様の情報セキュリティ状況確認、製品セキュリティの強化を実施している。 https://www.epson.jp/SR/organizational_governance/security.htm#h2_01																16.4	
人材の定着を図っている	タレントマネジメントのしくみを構築し、ローテーション制度や若年社員のキャリア支援、ライフタイムキャリアサポートを行っている。 https://www.epson.jp/SR/our_people/#h2_01 2005年から毎年自律活性度調査を実施し、従業員エンゲージメントについて把握し、調査結果を人事施策検討に活用している。 https://www.epson.jp/SR/our_people/workplace.htm#h2_06				4.4 4.7				8.8		10.2		12.a					
製品の品質・コミュニケーションの維持向上を行っている	お客様への直接訪問による要望・困り事の収集／分析や、お客様からの問い合わせ内容の分析などによりお客様要望を深掘し、商品・サービスに反映、品質向上と顧客満足度向上を図っている。 https://www.epson.jp/SR/engagement/ https://www.epson.jp/SR/customer_value/satisfaction.htm 世界各地・インターネットショッピングサイト上において模倣品対策を継続し、お客様が安心してエプソンブランド商品を購入できる環境づくりを行っている https://www.epson.jp/SR/organizational_governance/security.htm#h2_03												12.4 12.8				16.6 16.8	
ユニバーサルデザインに配慮した商品やサービスを提供している	ユニバーサルデザインガイドラインを規格として定め、商品やサービスへの反映をルール化している。 社内モニター制度により社員がユーザー評価に参加し、製品の使い勝手やデザインを評価している。 商品やマニュアル、ソフトウェアなどでカラーユニバーサルデザインを配慮して、あらゆる色覚を持った方でも使いやすい製品づくりに取り組んでいる。 https://www.epson.jp/SR/customer_value/universal_design.htm				4.5 4.a				8.5									
透明性の高い情報開示を実施している	1999年に「セイコーエプソン環境報告書」を発行後、2003年からは「サステナビリティレポート」と名称を変更して毎年報告書を発行している。 https://www.epson.jp/SR/report/pdf/2020/epson_sr2020_all_j.pdf 報告にあたっては、GRIスタンダード対照表に準拠して情報を開示している。 https://www.epson.jp/SR/gri/												12.6					

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
 - ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
 - ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）